

## 平安時代 暗記編

使い方 自信を持って正解できた問題は(1)のように問題番号に斜線を引き。問題文から消していきましょう。間違えた問題も確信して答えられるようになると斜線を引き。全ての問題に斜線が引ければクリアです。

- (1) 784年、桓武天皇は都を（ ）に移す。
- (2) 794年、桓武天皇は都を（ ）に移す。
- (3) 朝廷に従わない東北の人々を（ ）と呼ぶ。
- (4) 坂上田村麻呂は東北平定のため（ ）に任命された。
- (5) 天皇が幼いときに補佐する官職を何という。
- (6) 天皇が成人した後も補佐する官職を何という。
- (7) 藤原氏が摂政、関白となり実権を握った政治を何という。
- (8) 貴族や寺社は私有地である（ ）を持ち始める。
- (9) 唐の衰退を知った（ ）は遣唐使の廃止を訴える。
- (10) 唐が減んだ後、なんやかんやあって（ ）が建国される。
- (11) 朝鮮半島では新羅が減び（ ）が建国される。
- (12) 唐の文化を元にして、日本の風土や生活に合わせた（ ）文化が生まれる。
- (13) 漢字を崩した（ ）文字が使われる。
- (14) 源氏物語を執筆したのは（ ）である。
- (15) 枕草子を書いたのは（ ）である。
- (16) 紀貫之は歌集である（ ）を編纂した。
- (17) 日本独自の絵画である。平面の絵を何という。
- (18) 天台宗を開いたのは（ ）である。
- (19) 真言宗を開いたのは（ ）である。
- (20) 極楽浄土へ生まれ変わるのを願う（ ）が盛んになる。
- (21) 藤原頼通が極楽浄土を表現するため（ ）を建築する。
- (22) 貴族の住宅として庭がある（ ）が広まる。

(1)	長岡京
(2)	平安京
(3)	蝦夷
(4)	征夷大將軍
(5)	摂政
(6)	関白
(7)	摂関政治
(8)	荘園
(9)	菅原道真
(10)	宋
(11)	高麗
(12)	国風
(13)	仮名
(14)	紫式部
(15)	清少納言
(16)	古今和歌集
(17)	大和絵
(18)	最澄
(19)	空海
(20)	浄土信仰
(21)	平等院鳳凰堂
(22)	寝殿造

(ふーぎの雑談) 平安時代と言えば、華やかで雅なる暮らしを思い描く人も多いですが。実際にそんな生活が出来るのは公卿（くぎょう）と呼ばれる本当の貴族ぐらいで。其の数は50人もいなかったのですよ。そして貴族の中でもランクがあり。中位のランクだと、中央での出生はもうムリぽってなって。公卿に媚びへつらい。地方を治める国司となって地方にて王のように振る舞っていました。また、清少納言や紫式部で宮中の華やかな暮らしを思い描く人もいますが。宮中でも権力争いが激しく。華やかな学芸サークルを造っていた清少納言も失脚し。其の後に宮中に仕えた紫式部が新たな学芸サークルを造りますが。その都度、清少納言と比較され。日記に清少納言のことをぼろくそに書いてます。「あー、清少納言きにくわへんわ。浅はかな知識を得意気に語りやがって。第一、漢詩を使うとか、何？ 男に媚び売りたいの？ こっちは目立たないように馬鹿なふりしてんの。頭良いふりしやがって、ちょーむかつく」とまあ、紫式部は恨み辛みを文に残していますが。清少納言は紫式部に触れることは一切なく。失脚しても恨み言を残すこともなく。陽の清少納言、陰の紫式部と後世に伝わってます。